

# 南地域まちづくり

## かわら版

『子どもにやさしい地域づくり』をスローガンに、安全で安心できる住みよい地域づくりの実現に向け、地域の皆さんと一緒に様々な事業を実施しました。

### 南地域の一年をふりかえって

#### ◎平成29年度定期総会（4月）

平成28年度の事業・決算報告及び平成29年度の事業・予算が承認され、地域計画策定1年目の活動がスタートしました。



#### ◎南地域自治組織座談会（6月）



理事とまちづくり委員が、各部会（防犯・交通安全、福祉・防災、広報）に分かれ、これまでの活動から見えてきた課題を確認し、魅力ある南地域にしていくため、今後、それぞれの部会で取り組む内容について、活発に意見交換しました。

#### ◎地域交流イベント（11月）

今年のテーマは「学ぼうさい！！」。会場入り口では避難時の受付訓練を実施しました。表彰式終了後には、大口町地域協働部長による防災講座を、運動場では非常持ち出し品グッズの展示や、丹羽消防署のご協力で、煙道体験や水消火器体験をおこないました。



【煙道体験】

#### ◎『まちづくり座談会』（1月・2月）

第1回は、「大口町」は、この先もずっと今のまま、元気で豊かなまちであり続けることができるのか。**まちの現状と今後の課題を知り**、参加者同士で意見交換しました。

第2回は、「**安心して普通の暮らしが続けられる地域**」を目指し、これからの地域づくりについて、今後の解決策などについて、活発に意見交換をおこないました。



◎『南児童センターまつり』（2月）

元気クラブを中心に、地域や民生委員、企業、団体の皆さんと一緒に創る「南児童センターまつり」に今年も参加し、工作（ストローとんぼ）と綿菓子のコーナーで、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。

今後も、地域の皆さんと一緒に『南児童センター』の活動を盛り上げていきます。



**南地域のたからもの vol.7～三明神社～**

鳥居からぐるっと周りを見渡せば、大屋敷を一望できる絶好の場所に位置する三明神社。その創建年代は、はっきりとわかりませんが、棟札むねふだや古記録には、寛文12年（1672）に勧請かんじょう（神仏の分身・分霊を他の地に遷して祭ること）したとされています。また、江戸時代、尾張藩内にある村々の状況について書かれた『寛文村々覚書』かんぶんむらむらおぼえがき（寛文12年（1672））や『尾張徇行記』おわりじゆんこうき（文政5年（1822））には、大屋敷村に関する記載の中に「三明神」とあります。



境内の大きな樹木は、周囲の田園風景と比べかなり目立ち、遠目からでもその位置がわかります。まさに大屋敷のランドマークのような存在ですね。

【標語入賞作品】（敬称略）

よるのみちらいとをつけてね わすれずに  
きをつけて おうだんほどう てをあげて  
きをつけろ しらない人の あまいこえ  
ここはきけん いったんとまって 右左  
ちゃんと見てね 人も車も しん号を  
ドアにかぎ ちゃんとしめたか かくにんだ  
わすれるな 命を守る ヘルメット  
安全に みんなといっしょに 登下校  
思いやり みんなの心に きっとある  
よく見てね スマホじゃなくて 歩行者を  
事故ゼロに 少しの意識で 一歩ずつ  
声かけて みんなで守る 大口町

江口実花（1年生）  
一柳友萌（1年生）  
鈴木竣登（2年生）  
植村乙仁（2年生）  
濱田凌太郎（3年生）  
菊池啓仁（3年生）  
古川結月（4年生）  
小松勇翔（4年生）  
丹羽陽菜（5年生）  
川越洋太（5年生）  
石川心咲（6年生）  
村上優衣（6年生）